11月は児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進月間です。桐生市立図書館の特設コーナーにおいて、親子で楽しめる絵本や子育てに関する本を展示します。ぜひ、お出かけください。

子ども虐待防止
オレンジリボン運動

子育て支援センターからも、職員のおススメの絵本を紹介します。親子で一緒に楽しんでください！



『ごめんやさい』 作.わたなべあや



子どもに身近な野菜が「ごめんやさい」「いいよ」とやりとりするのがかわいい絵本です。謝る、謝られることを面白く知ることができてオススメです。

『おべんとうバス』 作.真珠まりこ

お弁当のたべものたちが「はーい！」とお返事をしながら、次々とバスに乗っていきます。リズミカルに読むことができ、一緒に「はーい！」とお返事をしながら見る子どもの姿もかわいいです♪



『きゅっきゅっきゅっ』 作.林明子



ねずみさん、うさぎさん、くまさんとごはんを食べる絵が、とってもかわいいです。小さいながらもお世話をしている姿に癒やされます。ぜひ、ゆったりとした中で読み聞かせをしてみてください。

『カラーモンスター　きもちはなにいろ？』 作.アナ・レナス　訳.おおとも　たけし



うれしい、かなしい、イライラ…　そんな言葉にできないこんがらがった気持ちを色にたとえて、「今、どんな気持ちかな？」と自分の気持ちを知るきっかけをくれる絵本です。がんばっているママも、自分の気持ちに気づくことで、ふっと心が軽くなるかも。子どもにもママにも、そっと寄り添ってくれる絵本です。仕掛け絵本もあるよ！

『くるまにのって』 作.岡本雄司

車に乗って、おばあちゃんのおうちに出発！身近な車がたくさん登場するので、「ショベルカーだ！」「どこに行くのかな？」「なにしてるのかな？」とお話ししながら楽しめます。



『じぶんだけのいろ』 作.レオ＝レオニ　訳.谷川俊太郎



カメレオンの悩み事は、「じぶんだけのいろ」がないこと。でも最後には、すてきなじぶん色を見つけます。どんな色でしょう？
ぜひ読んで、みなさまのじぶん色も見つけてください。

『ちょっとだけ』 作.瀧村有子　絵.鈴木永子

妹が生まれ、「お姉ちゃん」になっていく女の子の姿を描いた、心あたたまる絵本です。赤ちゃんのお世話で忙しいお母さんを見て、「ちょっとだけ」頑張って、自分でできることを増やしていく女の子。その姿には、「お姉ちゃんだからがんばらなくちゃ」という気持ちと、「本当はまだ甘えたい」という気持ちが隠れています。親子の愛情が感じられる一冊です。

